

2026
Vol.36

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital



病院の理念・基本方針

理念

患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する病院を目指します。

基本方針

- ◆ 高度医療の提供と研究開発の推進
- ◆ より高い医療安全の追求
- ◆ 地域医療への貢献
- ◆ 情報技術を基盤にした国際化の推進
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

病院長ご挨拶	2
病院改修状況	3
シリーズ診療科特集 外科	4
紹介元医療機関の紹介	6
市民公開講座開催	7
新任医師の紹介	7
外来診療案内等	8



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital

ご挨拶



九州大学病院別府病院長
三森 功士

世界はロシア・ウクライナ戦争をはじめとする地政学的緊張と、エネルギー・食料価格の高騰という未曾有の不安定さの中にあります。医療現場も例外ではなく、物価上昇は医療材料や設備、人材確保にまで影響を及ぼしており、全国津々浦々、病院はかつてないほどの危機感を感じながらの診療を推進しております。このような厳しい環境下にあっても、患者・ご家族様が第一で、地域医療の最後の砦として質の高い医療を守り続けることが私どもの使命と存じ、一生懸命に取り組ませていただいております。

当院は2021年に文部科学省の承認を受け、3期に分けた再開発事業を進めております。第1期として新病棟の建設はすでに完了し、最新の医療環境のもとで診療を開始しました。現在は第2期として既存棟の大規模改修工事を進めており、2026年夏頃の完了を予定しています。さらに第3期では、土地利用を通じて本院のみならず、別府市全体、さらには東部医療圏の活性化に資する新たな拠点形成を目指した構想が進行中です。医療・研究・交流が融合する次世代型の医療キャンパスとして、地域の未来に貢献したいと考えています。

診療面でも当院は大きな進化を遂げています。整形外科では、全国から患者さんが来院される脊椎外科に加えて、昨年夏より関節外科を本格的に開始し、すでに高いご評価をいただいています。内科では、従来のリウマチ・膠原病診療に加え、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科が極めて充実した体制を整えています。婦人科では、別府市の婦人科がん診療を当院が担う体制となり、放射線科と連携して腔内照射装置(ラルス)を本年初夏から稼働させ、地域の皆さまの切実なニーズに応えてまいります。外科では肝胆膵領域の高難度手術や腹腔鏡による消化管手術を行い九州大学の叡智を集結した集学的治療を展開しています。乳がん治療では県下トップクラスの成績を誇りますが、九州大学形成外科との連携により整容性と安全性を両立した乳房再建術も好評です。頭皮冷却装置により化学療法時の脱毛も最小限に抑えています。放射線科は国内トップレベルのIVR技術を有し、低侵襲治療を提供するとともに、別府市内で唯一の放射線治療専門医を擁する施設として高度ながん治療を支えています。最後に麻酔科は常に安定しており、すべての診療科における手技を安心・安全にお支えいただいております。

不確実な時代だからこそ、私たちは「もし自分や家族が病気になったら、かかりたい病院」であり続けたいと考えています。職員一同、誠心誠意、地域の皆さまの命と暮らしを守るために尽力してまいります。本年も温かいご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

移転のご案内



移転先はこちら

2026年3月中に移転予定

リハビリテーション室

売 店

2026年3月中をめどに、リハビリ室および売店は下記のとおり移転いたします。移転後は、より分かりやすく、安心してご利用いただける環境となる予定です。

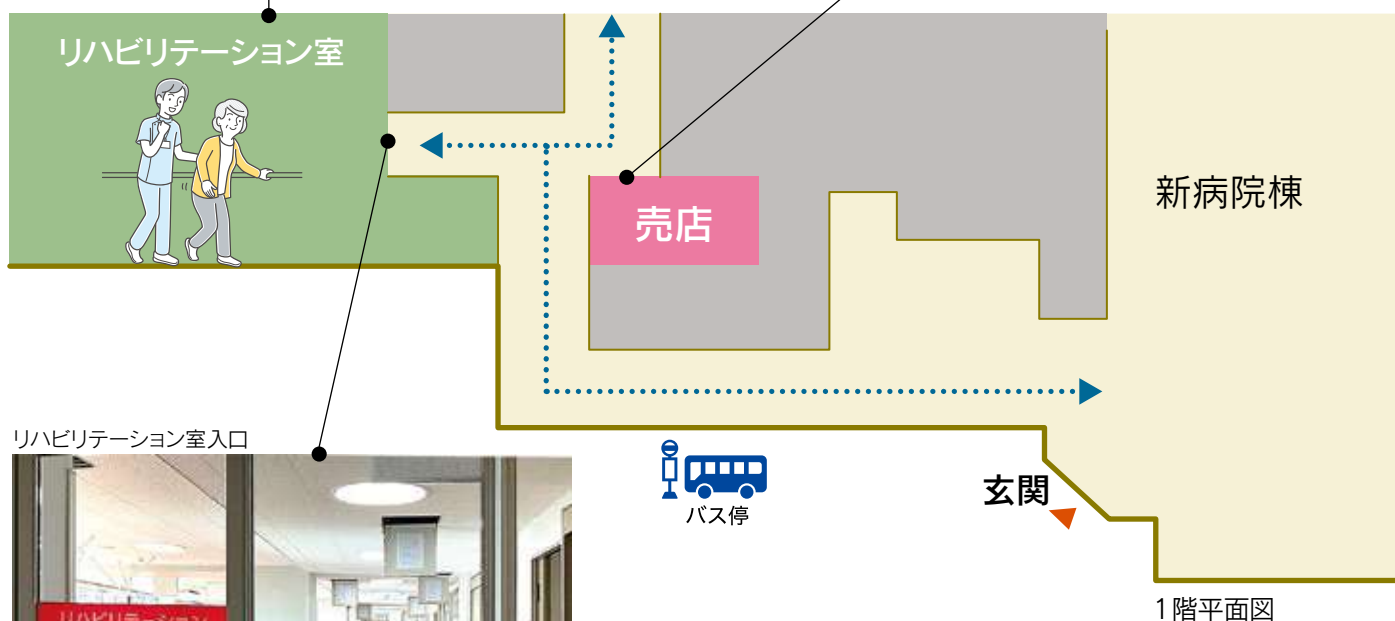
移転作業の期間中は、一時的にご不便をおかけする場合がございますが、安全に十分配慮しながら進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



リハビリテーション室



売店入口



リハビリテーション室入口



九州大学病院別府病院 外科は、地域の中核を担う高度医療拠点として、一般外科・消化器外科・乳腺外科を中心に、日々診療の質向上に取り組んでおります。2025年度は新たな人員体制と設備の充実により、手術件数は500件を超え、症例の難度・質ともに大きく向上しました。常日頃より当科に信頼をお寄せいただいている患者さん、ならびに地域の先生方のお陰です。心より御礼申し上げます。

本年度は、症例数全国1位のがん研究会有明病院(江東区)で研鑽を積んだ胡慶江が着任し、最新の消化器外科の知識・技術を伝授いただいています。現在、三森功士(教授・病院長)、米村祐輔(医局長)、大津甫(研究部長)、胡慶江(病棟医長)、安東由貴(外来医長)の5名が中心となり、質の高い手術と丁寧な術後フォローアップを推進しています。

ここでは、当科の「5つのこだわり」を紹介いたします。



1

資格に裏打ちされた“確かな診療体制”

当科には、外科学会専門医：8名、外科学会指導医：4名、消化器外科学会専門医：4名、指導医：4名、乳腺専門医：1名、乳腺認定医：2名、がん治療認定医：5名が在籍しています。さらに当院には腫瘍内科専門医・放射線治療専門医も常勤しており、外科・内科・放射線科が連携した集学的治療を行っています。特に進行がんでは、治療法の選択が複雑化していますが、当院では毎週、婦人科・病理科・腫瘍内科・放射線科・消化器内科・外科の専門医が一堂に会して合同カンファレンスを行い、各科専門家のコンセンサスとして“最適な治療方針”を決定しています。この体制により、外科だけでなく薬物治療・放射線治療も含めた最もエビデンスに基づいた患者個別に精緻な治療をご提供させていただいております。

2

スピーディで患者本位の診療体制

当科は手術だけでなく、常勤の消化器内科専門医(および婦人科専門医)と密に連携し、腹部症状全般に対して迅速に対応しています。また、特に軽度の検査異常、なんとなく感じる腹部違和感・食欲不振などの軽微な消化器症状でもお気軽にご相談ください。二次検診にももちろん親身になってご対応させていただいております。がん診断がついてから手術日に至るまでの期間は患者さんおよびご家族の精神的負担が大きいことから、われわれは、ご紹介から概ね2~3週間以内に手術をさせていただくことを基本方針としています。

病棟では、野寄看護師長を中心に、看護師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士・MSW・医師がチームとなり、痛みや不安に寄り添う、心の通う温かい医療を提供しています。

3

“手術による体へのご負担を最小限に！” こだわった低侵襲手術

当科の大きな特徴の一つが低侵襲治療への徹底したこだわりです。

日本内視鏡外科学会 技術認定医が常勤し、高度な腹腔鏡手術を安定して提供しています。

昨年度は9割以上の消化管手術が腹腔鏡で施行されており、疼痛軽減・早期回復・整容性など、多くの利点を実現しています。

4

肝胆膵領域は 「検査も手術も」一貫対応

米村祐輔は、豊富な消化器外科経験に加えてERCP・PTCDなどの高難度手技にも精通しています。真に彼の“匠の技”には多くの先生方からご信頼をいただいております。肝膵領域の症例を沢山ご紹介いただいております。したがって胆道系の精密検査から手術まで一貫して対応できる点は、当科の強みのひとつです。肝臓・胆嚢・膵臓領域のがんは病気が大きくなるまで症状のないことが多いことから「沈黙の臓器」として恐れられています。現在の医学を以てしても早期診断・早期治療に勝るアプローチはないことから、どんな小さな悩みでも気軽にお問い合わせください！

5

九州大学の叡智と連帯感を活かした 多職種でのチーム医療

様々な技術革新にも拘わらず、例えば膵臓がんの様に毎年患者数が増加している疾患や、大腸がんの様に高止まりしている疾患があります。診断法・治療法は高度に専門化し多様化しており、またその情報も短期間に更新されています。患者さんに最善の治療を提供するためには常に最新の情報を必要に応じて診療に反映することが可能な学術的な環境が求められています。正にこの点は弊学の矜持であり、市民の皆さまにも御期待いただいているところかと存じます。さらにその共有された情報を活かすために、多職種(医師、看護師、薬剤師、リハビリ、管理栄養士、技師)でのチーム医療を行っています。

特に、乳腺では乳腺チーム(マンマチーム)で多方面からの患者さんのケアに取り組んでおり、定期的に月1回ミーティングも開催しています。外来診療では乳がん看護認定看護師による心理的サポートやがん専門薬剤師による薬剤師外来での副作用対策など、乳がん患者さんに寄り添った治療が実践できるために日々取り組みを行っています。



私たち外科は、これからも大学病院ならではの「安全で質の高い手術」「患者さんに寄り添う医療」「多職種が一体となった集学的治療」を追求し、地域のみなさまに最良の医療を提供できるよう勉強し努力してまいります。そして患者さんのご意向を尊重する、心の通う医療をお届けしたいと存じます。

元 紹 介 の 機 関 の ご 紹 介

和田病院

院長 和田 純治 先生



和田病院



和田純治病院長

平素より大変お世話になっております。

医療法人信和会和田病院 院長の和田純治でございます。

当院は1976年、九州大学温泉治療学研究所付属病院外科(現：九州大学病院別府病院外科)に勤務しておりました前院長・故 和田浩一が、宇佐市において病床数45床の外科・消化器科病院として開設いたしました。その後、104床へ増床し、現在は急性期病棟33床、回復期病棟26床、慢性期病棟45床を有するケアミックス型病院として、地域医療の充実に努めております。所在地はJR宇佐駅前および国道10号線沿いに位置し、交通アクセスにも恵まれております。

当院は、宇佐市をはじめ、豊後高田市・杵築市・中津市など周辺地域の患者に根ざした医療の提供を目指しております。

標榜科は、外科・内科・消化器内科・消化器外科・肛門外科・整形外科・循環器内科・呼吸器内科・泌尿器科・皮膚科・リウマチ膠原病内科・リハビリテーション科でございます。

当院は、日本外科学会関連施設および日本消化器病学会関連施設に認定されております。急性期病棟(10対1入院基本料)では、外科・整形外科・泌尿器科の手術、ならびに消化器内科による内視鏡検査・治療を積極的に実施しております。回復期病棟(リハビリテー

ション病棟入院料1)では、平均6.5単位以上のリハビリテーションを提供し、在宅復帰率は90%以上を維持しております。療養病棟(病棟入院基本料1)では、介護施設での対応が困難な人工呼吸器管理中の患者、中心静脈カテーテル留置中の患者、重度褥瘡患者、PTEG造設患者などの受け入れを積極的に行っております。

また、病院に併設して、老人保健施設「和光園」(50床・在宅復帰超強化型)、グループホーム「みらい」(18床)、有料老人ホーム「和楽苑」(76床)を運営し、「治療から生活復帰、最終的には看取りまで一貫して支える医療・介護一体型体制」の構築に努めております。

2026年度には、回復期リハビリテーション病棟を26床から39床へ増床し、地域医療構想および医療計画に沿って、より一層「地域に求められる病院」への発展を図ってまいります。

九州大学病院別府病院からは、循環器内科・リウマチ膠原病内科の非常勤医師を外来診療に派遣いただくほか、外科医師には当直業務をご担当いただき、当院の医療の質向上に多大なるご支援を賜っております。また、三森院長をはじめとする外科の先生方には、手術患者への迅速かつ的確なご対応を賜り、心より感謝申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆DATA

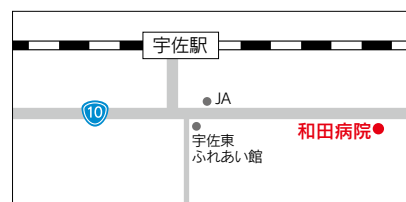
住 所：大分県宇佐市出光165-1

電 話：0978-37-2500

診療科目：内科・外科・整形外科・泌尿器科

リハビリテーション科・麻酔科

◆アクセスMAP





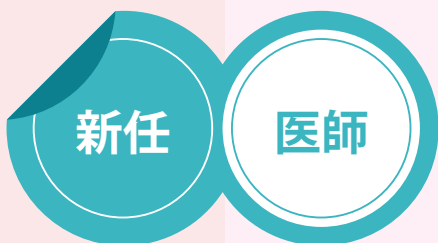
九州大学病院別府病院 市民公開講座を開催しました

九州大学病院別府病院では、診療内容を広く市民の皆さまに公開し、別府病院への理解と信頼を深めていただくため、市民公開講座を実施しております。

今回は、「人生100年時代を生き抜く体づくり—九州大学病院別府病院からの提言—」をテーマに、2025年11月16日(日)にピーコプラザ中会議室にて開催いたしました。三森功士 病院長が座長を務め、外科、整形外科、婦人科の医師が講演を行いました。今後も、市民の皆さまに、関心を持っていただける事柄をテーマに、定期的の実施してまいります。

講演テーマ

- そうだ乳癌検診、行こう 乳腺外科 安東 由貴
- 股関節の痛みをあきらめない—変形性股関節症の診断と治療— 整形外科(関節外科) 原 大介
- 健やかな生活のために—婦人科からのお手伝い— 婦人科 診療科長 園田 顕三



麻酔科



岩崎 哲也
(いwasaki てつや)

2025年10月より麻酔科に赴任いたしました岩崎と申します。2020年に九州大学医学部を卒業後、2022年に九州大学麻酔科蘇生科に入局、2023年に麻酔科標榜医を取得し、これまで九州大学病院やJCHO九州病院等で勤務してまいりました。

手術を受けられる患者さんそれぞれの状態や術式に合わせて、安全かつなるべく苦痛の少ない麻酔管理ができればと思っています。

温泉と食べることが大好きなので、別府の地で働けることをとても嬉しく思います。何卒よろしくお願いいたします。



吉田 理乃
(よしだ りの)

はじめまして、2025年12月より別府病院に赴任しました吉田と申します。愛媛県出身、鹿児島大学を卒業後は宗像水光会総合病院にて初期研修を行い、2025年に九州大学病院麻酔科蘇生科に入局しました。まだまだ至らない事も多いですが、一生懸命頑張りたいと思いますのでご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。

外科



河田 古都
(かわた こと)

2025年10月より医員として勤務しております、河田 古都と申します。広島県出身で、2018年に島根大学医学部を卒業後、広島で4年間勤務しておりました。その後ご縁があり九州大学消化器・総合外科に入局し、2023年4月からは大学院生として研究を行うため別府に参りました。この度、研究を続けながらではありますが臨床業務にも携わらせていただくこととなりました。研究と臨床の両方の視点を活かし、患者様に還元できる医療を目指して努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



辻本 成範
(つじもと あきのり)

昨年より奈良県立医科大学から九州大学病院別府病院に伺い、基礎研究に従事してまいりました。このたびご縁を賜り、医員として勤務させていただくこととなりました。主に上部消化管癌を専門としており、消化器外科専門医および内視鏡外科技術認定医の資格を取得しております。これまでの研究成果と臨床経験を今後の診療に生かし、患者さまにより良い医療を提供できるよう努めてまいります。微力ではございますが、貢献できますよう一層精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



高階 悠
(たかはし ゆう)

2025年7月より外科の医員を拝命いたしました、高階 悠と申します。

2020年に愛媛大学医学部を卒業後、松山および福岡の救急患者さんの多い医療機関にて研鑽を積んでまいりました。2024年4月より九州大学病院に勤務し、2025年4月からは医学研究のため別府に参りました。

同年7月より再び臨床現場での勤務の機会をいただき、皆さまのお役に立てることを大変嬉しく感じております。臨床・研究の両面において、患者さんならびに医療スタッフの皆さまのお力になれるよう、精一杯努めてまいります。

九州大学病院別府病院 外来診療案内

2026年1月1日現在

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ感染症内科 (新患予約制)	三 苫 弘 喜 土 井 吾 郎	三 苫 弘 喜 土 井 吾 郎	三 苫 弘 喜 押 領 司 大 助 團 塚 裕 子	病 棟 回 診 日	三 苫 弘 喜 押 領 司 大 助 團 塚 裕 子
	腫 瘍 内 科 (新患予約制)	是 石 咲 耶	是 石 咲 耶			是 石 咲 耶 小 熊 俊 輝
	循 環 器 内 科 (新患予約制)	甲 木 雅 人	甲 木 雅 人 池 田 昌 隆 午後 心血管カテーテル 検査・治療日	甲 木 雅 人 池 田 昌 隆	病 棟 回 診 日 午後 心血管カテーテル 検査・治療日	甲 木 雅 人
	消 化 器 内 科 (新患予約制)	森 麻 里 母	川 床 慎 一 郎	川 床 慎 一 郎	病 棟 回 診 日	川 床 慎 一 郎
外科	一 般 管 門	三 森 功 士 米 村 祐 輔 大 胡 津 慶 江	三 森 功 士 手 術 日	三 森 功 士 米 村 祐 輔 大 胡 津 慶 江	三 森 功 士 手 術 日	三 森 功 士 手 術 日
	肝 ・ 胆 ・ 膵	米 村 祐 輔		米 村 祐 輔		米 村 祐 輔
	乳 腺	三 森 功 士 安 東 由 貴	三 森 功 士 手 術 日	三 森 功 士 安 東 由 貴	三 森 功 士 手 術 日	三 森 功 士 安 東 由 貴
	脊 椎 ・ 脊 髄 (完全予約制)	手 術 日	熊 丸 浩 仁 貴 島 東 良 伊 陣 林 秀 紀 河 野 敦	手 術 日	播 谷 勝 三 貴 島 賢 広 伊 東 良 敦 河 野 敦	播 谷 勝 三 熊 丸 浩 仁 陣 林 秀 紀 河 野 敦
整形外科	股 関 節 ・ 膝 関 節 (完全予約制)	原 大 介	手 術 日		原 大 介	手 術 日
	婦 人 科 腫 瘍 女性ヘルスケア (完全予約制)	手 術 日	園 田 顕 三 村 上 孟 司 新 貝 妙 子	園 田 顕 三 村 上 孟 司 新 貝 妙 子	手 術 日	園 田 顕 三 村 上 孟 司 新 貝 妙 子
放射線科	放 射 線 画 像 診 断	平 川 雅 和	高 月 友 美	平 川 雅 和	平 川 雅 和	平 川 雅 和
	放 射 線 治 療	本 村 有 史 高 月 友 美	本 村 有 史		本 村 有 史 高 月 友 美	
共通	上部消化器内視鏡	米 村 / 胡 / 森	川 床 / 森	川 床 / 森	———	米 村 / 胡 / 川 床
	下部消化器内視鏡	米 村 / 森	川 床 / 森	川 床 / 森	川 床 / 森	米 村 / 川 床
	E M R / E S D	森 麻 里 母	川 床 / 森	川 床 / 森	川 床 / 森	川 床 慎 一 郎
	E R C P	米 村 祐 輔	———	米 村 祐 輔	———	米 村 祐 輔
	セカンドオピニオン			要 予 約		

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

受付時間 **初診** 8:30~11:00
再来 8:30~12:00 (予約の方は除く)
 ※但し土日、祝日は休診(急患は除く)
 代表電話0977-27-1600

地域医療連携室へ
お電話ください

- 整形外科・婦人科 … 完全予約制
- 内科：リウマチ感染症内科・腫瘍内科・循環器内科・消化器内科 … 新患予約制
- 放射線治療 … 初診 8:30~11:00

問合せ先 ご案内

地域医療連携室より

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼
 放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・検査依頼は、電話にて受け付けております。依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼
 地域医療連携室 0120-272-518(専用)
 0977-27-2055

- ・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、持ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

◆その他、外来・入院に関する お問い合わせ ☎ 0120-272-518(専用) 月~金 8:30~17:00
 TEL: 0977-27-2055(直通) FAX: 0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.36



九州大学病院別府病院
 Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市荘園町30番10号
 代表 TEL 0977-27-1600
 URL <https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>